

事務事業評価シート(平成21年度)

(建設・整備事業)

(A面)

1 事務事業の概要 <Plan①>				担当課	課長名	記入者
				教育総務 課	萬浪佳隆	松田 敏
事務事業名				新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
社会体育施設整備事業				新規	年度	年度
				○継続	○ H20以前	○未定
事務事業の体系						
計画 掲載	多可町総合計画		(章) 2 笑顔でつむ、あったかいまち	(節) 2 学ぼう、活かそう		
	個別計画		(基本計画) 生涯にわたってスポーツを楽しむ			
根拠法令・条例・要綱等				事業区分 (該当する区分に「○」)		
				ソフト事業		施設の維持管理
				義務的事業		内部管理事務
事務事業の具体的内容				○建設・整備事業		計画などの策定
経年劣化した劣化した全天候型テニスコートを砂入り人工芝コートへ改修。				補助金の支給		○有 無
経年劣化した温水プールの改修と機能向上のための改造工事。				委託		全部委託 ○一部委託
				委託		委託なし(全部直営)

2 事務事業の目的 <Plan②>		
対象 (働きかける相手・誰が・もの)	受益者 (誰を・何を)	意図 (どういう状態にしたいのか)
ガルテン八千代テニスコート サンスイム加美	住民、体育協会、中学校、エーデルささゆり、N SI等	安全に、そして楽しめるスポーツ施設への環境 整備

3 事務事業にかかる予算細目 <Plan③>				会計名				一 般 会 計			
細目名		体育施設整備		細目名				細目名			
予算 コード	款	項	目	大事業 コード	款	項	目	大事業 コード	款	項	目
	10	7	2	1							

4 事務事業実施にかかるコスト <Do①>							
事務事業・人員		単位	20年度 決算	21年度 実績(見込)	22 年度 計画	備 考 (全体事業費など)	
総 コ ス ト			30,303	2,244	0	平成22年度は生涯学習課 扱い	
コスト の内訳	直接事業費	千円	25,109	0	0		
	所属内間接費						
	人件費		5,194	2,244	0		
	投入人員	人/年	0.60	0.25	0.00		
財源 内訳	国・県支出金						
	地方債	千円	23,800				
	その他特定財源						
	一般財源		6,503	2,244	0		

5 事務事業の手段<Plan④>と活動指標 <Do②>							
事務事業を構成する業務		手段 (事務事業整理シートより)	活動指標 (手段の数値化)	単位	20年度 実績	21年度 見込	22 年度 目標
1	ガルテン八千代テニスコート改修業務	老朽施設の改修	単年度事業		完了		
2	温水プール改修業務	老朽施設の改修	単年度事業		完了		
3							
4							
5							

(建設・整備事業) (B面)

6 事務事業の実績 <Do③>		事務事業名 [社会体育施設整備事業]			
成果指標(意図の数値化)	単位	20年度 実績	21年度 実績(見込)	22 年度 目標	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
年間利用者	人	2,205	7,252		利用者実績から

7 事務事業の事後評価 <Check>				(建設・整備事業)				
チェック項目				該当項目に「○」			担当の把握している課題	
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は		○	ない	ある		
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は		○	ない	ある		
		歳入確保を検討する余地は		○	ない	ある		
		契約時期や工期設定に問題は		○	ない	ある		
		業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は		○	ない	ある		
有効性	目標の達成度	当初予算(計画)どおりに事業が実施できて		○	いる	いない		
		事業の効果が明らかで		○	ある	ない		
	持続の可能性	維持管理などの後年度負担に十分配慮されて		○	いる	いない		
		環境に配慮されて		○	いる	いない		
改善の可能性				○	1.改善の余地はない			2.改善の余地がややある
					3.改善の余地が多い			4.抜本的な見直しが必要

事務事業評価書

8 改善提案と今後の改善の方向性 <Action>社会体育施設整備事業

職場からの意見(担当者)									
(課題の解決についての提案など) ガルテン八千代テニスコートは既存の人工芝コート2面を加え計6面の整備ができたので、個人利用と合わせて団体利用による大会開催等利用促進効果があった。 今後は中央公園テニスコート及びプールの改修の検討を願う。									
担当課長評価									
(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 改修により合併後の最大使用者数であったH18年度の利用実績4,841人を超すことを目標にしていたが、平成21年度は7,252人の利用者があった。これはH19年度4,027人、H20年度の2,205人を大幅に越す結果となったので改修の成果は大きいものと評価できる。 今後は、管理部署の生涯学習課に運営を任せる。									
所管評価		1. 重点的に継続	○	2. 現状のまま継続		3.内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討	
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7.終了・完了	内部評価		5
教育長評価									
(教育長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 現状を維持しつつ、より多くの方に利用してもらえるように方策を検討していきたい。									
事業評価		1. 重点的に継続	○	2. 現状のまま継続		3.内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討	
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7.終了・完了			
評価委員コメント									
イベントを計画するなど、より多くの参加者を得るためのPRが必要。 町内の利用者は増加しているが、町外の利用者を増やすことにも努めていただきたい。									